

令和2年度 JEES・ソフトバンク AI 人材育成奨学金 (ソフトバンク AI 人材育成スカラーシップ) 奨学生の募集

2019. 10. 25

1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- ① 令和2年4月、工学研究科博士課程前期に入学予定の私費外国人留学生(在留資格:留学)
- ② 応募時点で人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組んでおり、MC 入学後も同分野の学修・研究に取り組む者。
- ③ 令和2年4月以降、他の併給不可の奨学金を受給しない者。
- ④ 日本語による意思伝達、文章記述ができる者。
- ⑤ 令和2年9月30日時点で28歳未満の者。
- ⑥ 懇親会への参加(令和2年4月末予定)、インターンシップ(令和2年7月～9月予定)への応募およびアンケートへの回答ができる者。
※ インターンシップ参加については応募後、別途選考がある。(資格外活動許可を令和2年7月末までに取得すること。)

2. 金額と期間

月額 80000 円 (令和2年4月から令和3年3月まで) 一時金 40000 円 (令和2年7月に支給)

3. 推薦人数 1名

4. 応募書類 (全てPC入力、日本語で作成)

- ① 願書 (様式1、別紙1、別紙2、署名は自筆、裏面に氏名を記載した写真貼付)
 - ② 推薦書 (様式2、推薦理由を指導教員が記入、要押印)
※ 大学名、学長名、大学担当者連絡先の欄は記入不要。
 - ③ 直近の成績証明書 (日本語以外で記載されたものは和訳を添付)
 - ④ 私費外国人留学生身上調書
 - ⑤ 家計状況申告書
- ※ ①, ②は紙媒体の他に Email でデータも提出すること。
※ ④, ⑤は2019年10月以降に他奨学金申請で提出した場合は不要。

5. 応募締切 2019年11月21日(木)

6. 申請書類の提出先 教務課国際交流係 (eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)

※ 既に2020年度に併給不可の他奨学金に採用が決定している者または申請中の者は推薦対象外です。

令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金
(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)
募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、ソフトバンク株式会社(代表取締役社長執行役員兼CEO 宮内 謙 氏)のご支援により、「JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

AIが全ての産業でより幅広く活用され、各産業の在り方を変えていく時代を見据えて、今後の産業の発展を担う「AI人材」の育成に貢献することを目的とする。

2 本奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者であるソフトバンク株式会社(以下「寄付者」という。)は、「情報革命で人々を幸せに」という経営理念のもと、モバイル事業やインターネット事業を行っている。本奨学金を通じて、AI人材の育成に寄与するため、AI分野を学修・研究する学生を経済的に支援すると共に、その次の世代がAIに興味を持ち、その道を志す契機となることを願い、資金を提供された。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 令和2年4月に、日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士課程1年次(区分制及び一貫制博士課程の1年次を含む)に正規生として在籍予定の日本人学生及び私費外国人留学生(在留資格は「留学」に限る。)。大学は寄付者と協議の上選定した指定校とする。
- (2) 応募時点で人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組んでおり、修士課程進学後も同分野の学修・研究に取り組む者。
- (3) 修学の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (4) 品行方正で、学業成績が優秀な者。
- (5) 令和2年4月に在籍を予定する大学の長の推薦を受けることができる者。
- (6) 日本語で面接を受けることができる者。
- (7) 社会人学生(休職中を含む)でない者。
- (8) 令和2年9月30日時点で28歳未満の者。

4 採用人数

最大100名

5 支給内容

月額奨学金 80,000円
一時金 40,000円 (一時金は令和2年7月に支給する)

6 支給期間

令和2年4月より令和3年3月まで。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。

- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。
- (3) 8の(1)及び(3)は、郵送するとともに、Excelデータをix@jees.or.jpにメールで送付するものとする。(手書きは受け付けない。送付するファイルの写真、署名及び捺印欄は空欄でよい。)

8 推薦書類

- (1) 願書(様式1、別紙1、別紙2。日本語で記載されたものに限る。) 1通
 - (2) 応募者の写真(直近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
 - (3) 推薦書(様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通
 - (4) 学業成績証明書(提出できる最新のもので、大学又は高等専門学校在籍期間中に取得した成績がすべて記載されているもの) 1通
- ※日本語以外で記載されたものは和訳を添付すること。

9 応募・推薦書類の提出期限

令和2年1月9日(木)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について寄付者とともに書類及び必要に応じて面接による選考を行い、奨学生を決定する。面接は令和2年2月中に寄付者指定場所、またはオンラインで行う。結果は、令和2年3月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告しなければならない。
- (2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により、大学を通じて遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会へ報告しなければならない。
- (5) 受給者は、本協会又は寄付者の要請に応じ、懇親会への参加(令和2年4月末予定)、インターンシップ(令和2年7月~9月予定)への応募及びアンケートへの回答をしなければならない。
※インターンシップ参加については応募後、別途選考がある(令和2年5月~7月予定)。
※インターンシップは有給となるため、資格外活動許可を未取得の留学生は令和2年7月末までに取得すること。

13 本奨学金給付の休止又は終了及び決定取消

- (1) 受給者が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間において奨学金の支給を再開することがある。但し、6の支給期間は延長しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、休学または留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。

- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、休止又は終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨通知しなければならない。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 本奨学金は他の併給を認める奨学金の受給を妨げない。
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期欠席または休学の扱いとならなければ、支給を継続する。

15 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報の管理
本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、本奨学金寄付者と共同して、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。
- (2) 個人情報の利用目的
本協会及び本奨学金寄付者は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。
 - ① 奨学生を選考するため。
 - ② 本奨学金支給事務のため。
 - ③ 本奨学金懇親会・インターンシップ・イベント・アンケート等を実施するため。
 - ④ 本協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
 - ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育支援室
〒105-0003東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

以上

*No need to submit if you have already submitted anytime in **October 2019 or thereafter.**

*** 2019年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。**

私費外国人留学生身上調査書

2019年10月現在

1. 身分・名前等

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東北大学 入学前の 在籍大学	年 月 卒業・修了				
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
			年 月 ~ 年 月		
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート (住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏 名	続柄	年齢	同/別居	勤務先または学校名
	父			
	母			

*No need to submit if you have already submitted anytime in **October 2019 or thereafter** .
 * 2019年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年 MC 年、DC 年、大学院研究生	学籍番号	
氏名			

家計状況

* 2018年10月から2019年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった